



三井金属鉱業株式会社(5706)

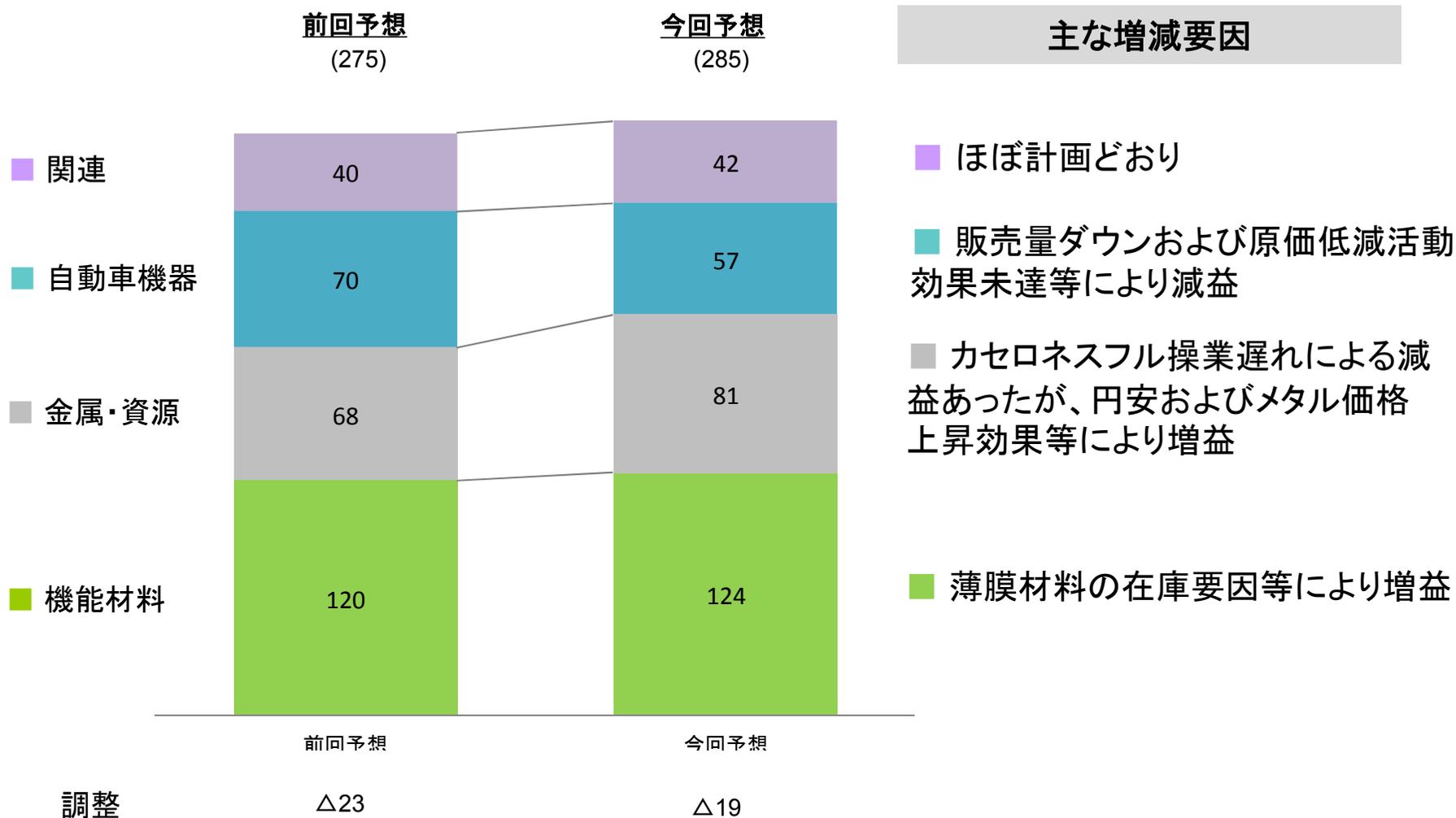
2015年3月期 第2四半期

決算説明会

2014年11月11日

セグメント別経常利益

(対前回予想比、億円)



【資源】

- ・ カセロネスは前回予想より遅れ、まもなくフル生産となる予定
- ・ 今年度収益貢献 ゼロ見込み → マイナスへ
- ・ 2015年度は計画通り、フル生産で損益に寄与

前回予想

前提：フル生産開始 2014年9月中
銅価 310¢/lb

今回見直し

前提：フル生産開始 2014年11月中
銅価 300¢/lb

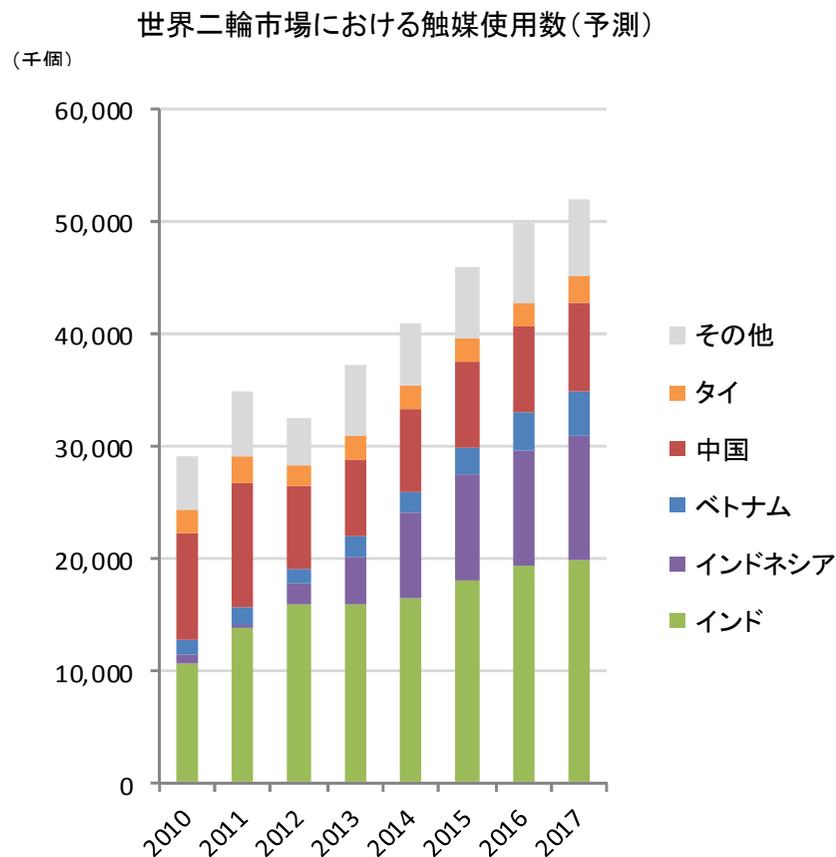


カセロネスプロジェクト

- ・ 初期投資額 42億ドル
- ・ SXEW 電気銅生産開始 2013年 3月
- ・ 銅精鉱生産開始 2014年 5月
- ・ フル生産開始予定 2014年11月
- ・ 2015年度利益貢献見込 約50億円
(前提：銅価 320¢/lb, 為替100円/US\$)

【触媒】

- ・ 2014年度の二輪用触媒の数量は、インドネシアとインドが牽引し、着実な伸びを見込む。
- ・ 新工場の建設も計画通り進捗中。



新工場建設状況

インド第二工場

インド市場拡大に伴い、第二工場を建設

所在地: グジャラート州サナンド工業団地
操業開始: 2015年4月予定(従来計画通り)

Mitsui Kinzoku Catalysts America

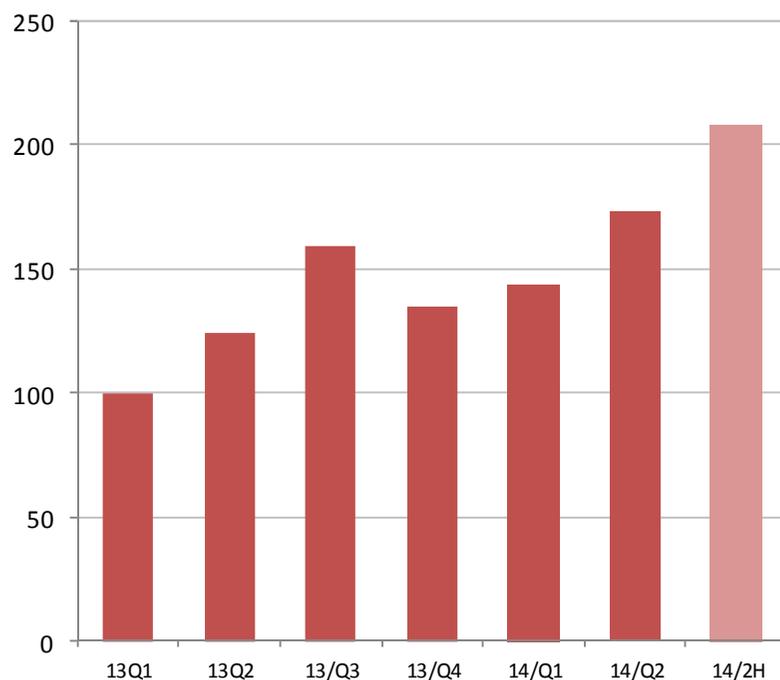
当社初の四輪車用触媒専用工場

所在地: ケンタッキー州 フランクフォート市
操業開始: 2015年7月予定(従来計画通り)

【電池材料】

- ・ LMOは原計画ほどではないが、着実に販売を伸ばしている
- ・ MH合金は車種構成により上期販売量が減少したものの、下期以降は高い稼働率を見込む

LMO販売数量（'13/Q1を100としたときの指数）



MH合金販売数量（'12/Q1を100としたときの指数）



【 自動車機器 】

- ・ 昨年度のアジアシフト対応遅れの影響解消により、対前年度比では約40%の増益を見込む
- ・ 一方、前回予想比では、上期は原価低減活動の刈り取り時期遅れの影響、下期は日系自動車メーカーの足許の状況を織り込み、収益予想を引き下げた。
- ・ メキシコ・インドネシア両拠点は第2期工事が計画通り進捗。来年度以降の増販に寄与

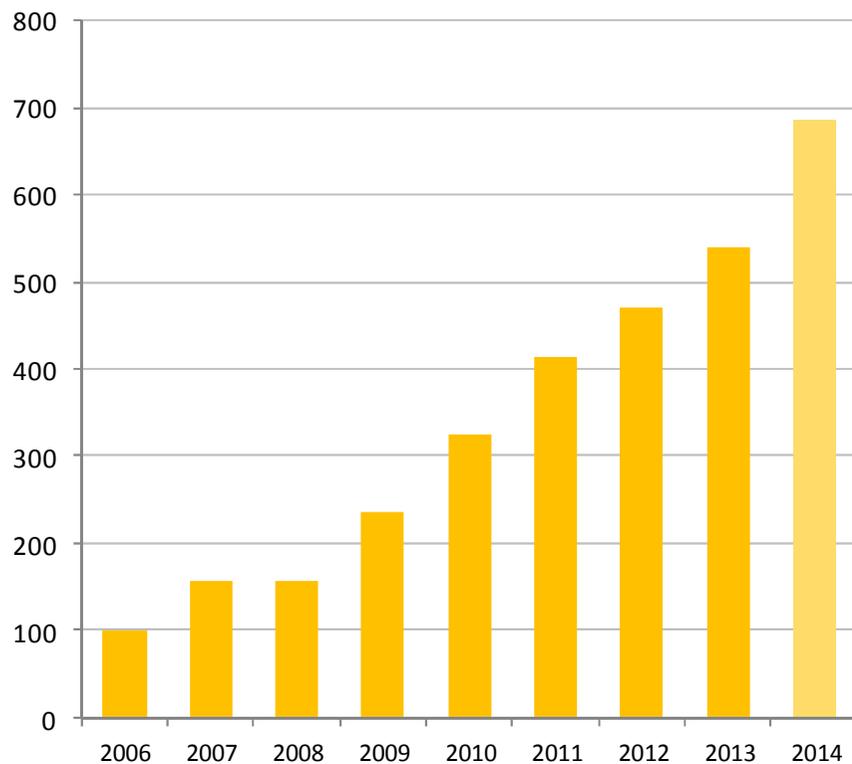
新工場操業開始予定

	2013年	2014年	2015年
メキシコ Mitsui Kinzoku ACT Mexicana	第1期 7月 操業開始	第2期 初頭 操業開始	
インドネシア Mitsui Kinzoku ACT Indonesia	第1期 12月 操業開始	第2期 1月 操業開始	

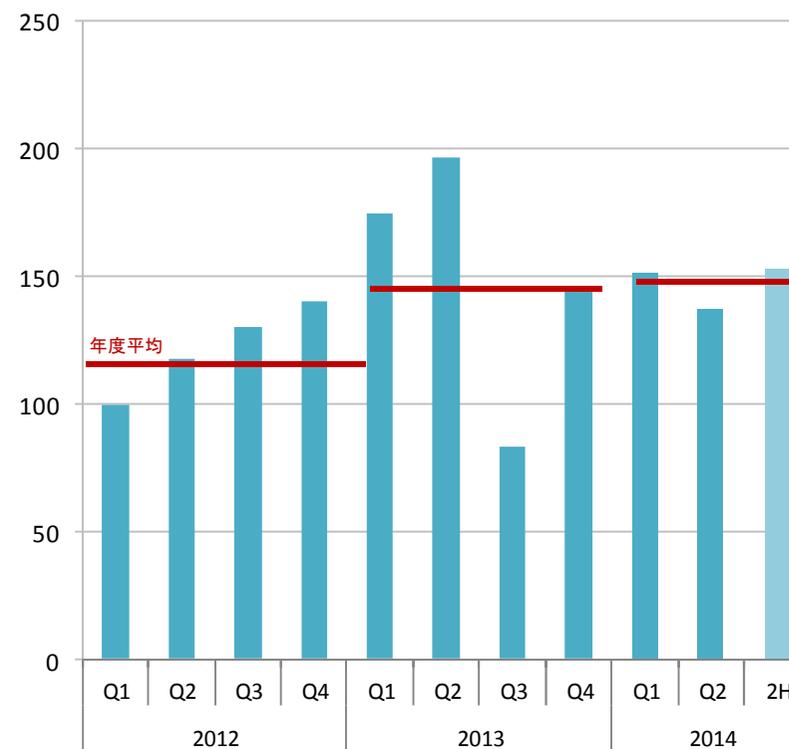
【銅箔】

- ・ マイクロシンは計画通り販売堅調。
- ・ 一方、FPC向け銅箔の販売が伸びが想定より弱いのが懸念材料。

Micro Thin™ 販売量 (2006年を100とした指数)



FPC向け銅箔販売量 ('12/Q1を100としたときの指数)



将来の見通しに関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている将来の見通しに関する記述は、様々な既存のリスク、未知のリスク、不確定要因等を伴っているため、実際の事業環境・事業活動は、これらによる影響を受けることとなります。したがって、将来の見通しに関する記述内容またはそれによって示唆されている内容が、実際に生じる結果と大きく異なる可能性もあります。

本資料は、将来の見通しに関する記述の中で使用されている目標、想定、期待、予測、計画、評価等の情報が正確である、または将来その通りになるということを、当社が保証したものではありません。

将来の見通しに影響を与えうる潜在的リスクや不確定要因については、当社の有価証券報告書またはホームページの「事業等のリスク」の項目に記載されておりますが、潜在的リスクや不確定要因がその項目ですべて網羅されている訳ではありませんので、その旨ご注意ください。

本資料は、株主・投資家等の皆様に、当社の経営方針・経営情報等をよりよくご理解いただくことを目的として作成しており、当社の株式の購入・売却など、株式等の投資を勧誘することを目的としたものではありません。したがって、皆様が実際に投資なさる際には、本情報に全面的に依拠して判断を下すのではなく、あくまでご自身で投資の可否をご判断くださいますよう、お願いいたします。